

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	無限粒子系の確率解析学
研究代表者	長田 博文（九州大学・大学院数理学研究院・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>無限粒子系という、今世紀に入って新しい展開を見せている確率解析学の重要なテーマについて、確率論における我が国の主だった研究者がチームを組んで推進する研究である。物理系の研究者とも実質的な研究を進めるようになっており、成果が期待される。</p> <p>研究の焦点はよく絞られており、研究内容は極めて独自性が高い。また、研究計画も、応募者の高い研究遂行能力から実現可能と判断される。この研究を推進することにより、新たな概念が生まれる可能性もある。</p> <p>このように、本研究は、当該研究分野をリードし、日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>